

人権意識が根づくまち

市民一人一人の人権と、多様な価値観を尊重し合い、地域で共生できるまち「ふくつ」。このコーナーでは、人権について思いを巡らすひとときを提供します。
 市人権政策課 ☎43・8129、☎43・3168

やめようよ
こしょこしょ話が
いじめの合図

(中学2年生)

つくるうよ
平和と言える
未来の世界

(小学6年生)

8月の人権標語

パンデミック（世界的大流行）から学ぶこと

新型コロナウイルス感染症の対策が、今年の5月から新たな段階に入りました。感染症の完全な終息には至っていないものの、少しずつ人々の動きや社会が活動的になってきました。そこで、私たちは、今回のパンデミックから何を学ぶべきでしょうか。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の前文には「：我が国においては、過去にハンセン病、後天性免疫不全症候群等の感染症の患者等に対するい

われのない差別や偏見が存在したという事実を重く受け止めてこれを教訓として今後に生かすことが必要である。このような感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等の人権を尊重しつづ」とあります。

この法律は平成10年に施行されているにも関わらず、私たちは「コロナ差別」といういわれのない差別を繰り返してしまいました。なぜ、そのようになつたのでしょうか。

問題に対して正しい知識を持たずに恐怖心が先行し、予断と偏見が先行してしまつたこととです。さまざまな人権問題にも共通しているように感じます。

また、正しい知識を身に付けるため、どのような方法で情報を集めるのかといった課題もあります。その打開策の1つが、まずは疑問を口に出し身近な人と話をする事です。日常生活の何気ない場で、人権を話題にした会話が、増えることを願ってやみません。

「豊かな人生ってなんだろう!?」

福津ライフ

No.4 江藤 彰洋さん

キッカケラボ KIKKAKE LAB.

福津市に関わる多様な人たちがつながり合い、新たな可能性を創り出す「キッカケラボ」。ここでは、私たちが目指す「豊かな人生」とそこに至る「きっかけ」について紹介します。 市地域コミュニティ課 ☎62・5017

「“仕事”とは自分の人生を豊かにする手段だと思えます」という江藤さん。以前は、誰もが自分の生き方や暮らしぶりに合った柔軟な仕事先を見つけられるように、多様な雇用の選択肢を作つて社会に残していくことが自分の役割だと考えていました。しかし、世の中にどれだけ多くの選択肢があつても「選ぶことそのものが苦しい」という人がたくさんいることを痛感します。そこで、選ぶことそのものを誰もが楽しめるようになるには何が大切なのかを調べ考えるようになりました。



その結果として「ルーツある嗜好品の民主化」が次のキャリアテーマに。ずっと憧れていたクラフトビールの事業とテーマがつながり、津屋崎にある築百年を超える旧旅館・玉乃井の一角を改築し、手作りビール工房「ミチクサ醸造所」を家族でスタート。主役ではなく名脇役を目指すビールブランド「FOC」を、皆さんの日常にそつと彩りを添える存在にしたいと願っているそうです。

8月のイベント案内

- おはなし会**
 木曜おはなし会0・1・2 (2歳児以下)
 10日(木)午前11時～午前11時20分
 福岡津屋崎子ども劇場おはなしの国
 17日(木)午前11時～午前11時30分
ふくつ語りの会
 19日(土)午後2時～午後2時30分(幼児～小学校低学年)、午後2時40分～午後3時10分(小学生～大人)
日曜おはなし会(3歳児以上)
 毎週日曜日午後3時～午後3時30分

※状況によって開催を取りやめる場合があります



乳幼児の子育て わわわ

二情一報

笑って「話」して「和」んで子育ての「輪」を広げませんか。ぜひご利用ください。

①育児講座「大切にしたい子育てと体づくり」
 子どもの発達や関わり方を一緒に学びましょう。保育所で日頃、行っているさまざまな遊びや体づくりを紹介しします。
 9月1日(金)午前10時～正午 場ふくとぴあ
 定先着20人 ※要予約
 市大和保育所園長 西原礼子

②育児講座「お口をとおして健康で賢い子育てを!」
 毎日の食事をするために、歯はとても大切です。講師の話聞いて、口をとおした健康や子育てについて学びませんか。
 9月14日(木)午後2時～午後4時
 場ふくとぴあ 定先着20人 ※要予約
 市よしむら小児歯科医院院長 吉村薫さん

③育児講座「絵本と子ども」
 絵本を読むと世界が広がります。絵本の楽しさや素晴らしさを感じることが出来る講座です。
 9月27日(水)午前10時～正午
 場ふくとぴあ 定先着20人 ※要予約
 市おはなし会昔っコ 梅田恵子さん

①②③の託児 先着15人、生後5カ月以上の未就学児、1人300円、講座開催日の8日前までに要予約
 ①②③の受付開始日 8月1日(火)
 ①②③の問市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382

市は、乳幼児の子育てを応援しています。みんなで手を取り合って健やかな子どもを育てましょう。こどもの国ホームページでは市内の子育て施設やサービスなどを紹介しています。
 市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382



▲大型ソフト積木やマットで遊ぶ子どもたち

「あいあいタイム」に来てみませんか

子育て支援センターでは、予約制で市内の未就学児を対象に、1～2カ月に一度「あいあいタイム」を行っています。体をしっかりと動かして遊べるように、マットやソフト積み木などを使って、運動遊びのコースを設置しています。また、子どもたちの様子を見て位置を変えたり、最後まで楽しんで遊んだりできる工夫をしています。

「なかよしルーム」では体験できない、ダイナミックな遊びができます。思い切り体を動かして遊べる「あいあいタイム」に参加しませんか。

図書館の今月のおすすめ

運命の一冊

一冊の本が、ひよつとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけに来ませんか。
 市立図書館 ☎42・8000

DVD

「僕が跳びはねる理由」東田直樹原作 ジェリー・ロスウェル監修 KADOKAWA

小学生向け

「てんごく」新美南吉詩 長野レディ子絵 のら書店

中学・高校生向け

「フクツドウライオウ」靴の往来堂佐藤まどか著 あすなる書房

一般書

「おなががすいたハラペコだ」椎名誠著 新日本出版社

「僕が跳びはねる理由」東田直樹原作 ジェリー・ロスウェル監修 KADOKAWA
 世界各地の5人の自閉症の少年少女の姿や、その家族の証言を通して、自閉症の人には世界がどう見えているのかを描きます。

「てんごく」新美南吉詩 長野レディ子絵 のら書店
 母への思いを込めた新美南吉の詩が絵本になりました。母親があるがままで居てくれるだけで、子どもには天国なのです。

「フクツドウライオウ」靴の往来堂佐藤まどか著 あすなる書房
 家業の5代目候補だった兄が突然の失踪。シューズデザイナーを夢見ていた夏希は、老舗靴屋を継ぐべきか悩みます。

「おなががすいたハラペコだ」椎名誠著 新日本出版社
 食べ物エッセイ第4弾。副題は「月夜にはねるフライパン」。コロナ感染後はハラペコ感が戻らず、食への関心もなくなりそこで出会ったのが…。